

② ジョブマップからのアイディエーション

実験ワークショップ報告書

～「映画館でみる映画」におけるジョブ(Jobs-To-Be-Done)～

見た人と
思い出作りができる

- ・思い出に残るチケットに仕掛けをつくる、自分でプリンターで作るチケットや、オリジナルのeチケットなど
- ・誕生日や結婚記念日など、特別な一日を過ごすためのプランの中に、映画を入れるコーディネートサービス（+レストランなど）
- ・思い出の作品に特別な思いを込めるためのグッズ作成（思い出の作品のDVDケースで小物入れなど）
- ・インスタ用スポットなど撮影場所の設置
- ・誕生日割り引き、帰郷（20代+50代）割り引きなど

子どもと
話す機会を作る

- ・子どもが映画館に来やすいようにハードルを下げるため、騒いでも出入りしても大丈夫な上映時間を作る（例：TOHOシネマズ：ママズクラブシアターなど）
- ・子ども向けの映画には、休憩やイベントを途中で挟む。例えばキャラクターの着ぐるみが途中ででてくるなど
- ・もし都合で途中で退出しても、席が空いていれば途中から見る事ができる（スマホなどで確認可能）

見た人と価値観を
共有する

- ・オンライン上で、単なるレビューではなくて、発展性のある価値共有のためのコミュニティを作る（二次創作OK、貢献に応じて報酬有）

好きな芸能人に
貢献できる

- ・グループの押しメンで、クラファンで金額に応じた露出の過多が決まる
- ・チケットに寄付金を上乗せできる

リフレッシュできる

- ・アルコール類の強化（トイレタイムを設ける）
- ・仕事帰りなど、思い立ったときにすぐに行けるように、LINEなどでサクッとチケットを買い取るようにする
- ・夜遅くなり過ぎないように、上映時間のタイミングを提供
- ・閑散期にお知らせ+ダイナミックプライシングの導入
- ・映画内にでた食べ物の提供（食べ物シーンを増やす、Uber Eatsで食べられるスペースを提供、作品に出たお菓子やパンを提供する）

ひとりの時間を
ゆっくり過ごせる

- ・育児に疲れたママを対象に、パパ+子どもはキッズ映画、ママは一人で自分の見たい映画を見れるようなサービスを提供する
- ・没入感を入口から高めるように、入口から暗く、席には仕切り
- ・枠が入らないような大画面（IMAXなど）などにする

暇を潰せる

- ・一日に何本も見れる（再入場OK）料金体系サービスを考える
- ・新幹線（東京-大阪2:30）でWifiで、映画を提供する
- ・早朝やプレミアムフライデーを狙うようなキャンペーン
- ・雨の日、テーマパークに行く予定の客をターゲットとして、代替割引や荷物の預かり、タオルの提供を行う

社会・歴史・事件に
ついて知る

- ・終わったあとに解説をしてくれる（池上彰風に分かりやすく）
- ・参加型のイベント、ワークショップの開催で理解を深める
- ・映画の聖地巡礼ツアーで、該当地域の映画館とタイアップして、ツアーに組み込む

文化の理解

- ・訪日外国人向けに日本映画を多言語で楽しめるため、字幕が表示されるようにする（UDCastなど）

●ワークショップの目的

「映画館でみる映画」に関する**顧客体験データ**を集め、そこから生活者の「映画館でみる映画」に対する**ジョブ**（Jobs-To-Be-Done）を**発見**し、一枚のマップ（ジョブマップ）をつくりながら**理解を深める**。そしてジョブマップを起点として、映画業界の今後に示唆を与えるような**ディスカッション**や**アイデア発想**を行う。

●顧客体験データの取得

過去3年で一番直近で見た映画について、その時の**状況**、**期待**などを**自由回答**で聴取

調査対象	全国の20～69才の男女（性別、年代、地域で割付）
調査手法	WEB調査
調査期間	2018/11/27(Tue)～12/02(Sun)
サンプルサイズ	213（全回収数：1,122）

顧客体験（CX）カードにまとめ、ジョブを読みとる

●ID 1000039 ●見た映画タイトル ウェム 性別 女性 31才 ●状況・動機 （いつ） 休日前（誰と） ひとり （見た理由） 世間で話題だった、暇でやることなかった （見る前の気分） ストレスがたまっていた、新しいのめもたあつた、感情を思い出した、映画が面白かった （なぜサービスで） 仕事が終わったため、映画館で見た特撮で面白かったから観に行った ●期待したこと （見た後に気分） 笑える、興味深かった、ハラハラドキドキできる、完結がある、感動がある、感動にふける アクションが迫力があり楽しそうだから日頃のストレスが解消されると感じた	●ID 1000486 ●見た映画タイトル インクレディブルヘリコプター 性別 男性 40才 ●状況・動機 （いつ） 休日前（誰と） 子ども （見た理由） 世間で話題だった （見る前の気分） テンションが高かった （なぜサービスで） 子どものために映画館で見た特撮で面白かったから観に行った、CMで映画の知らなかったところを知りたかった。子供も観たがいたので、2人で観に行きました。 ●期待したこと （見た後に気分） 面白い、笑える、ハラハラドキドキできる、子供と一緒に楽しめる 子供と一緒に映画館に行ったという思い出にしたい。
--	---

●ワークショップの概要

ワークショップ日時	2018/12/13(Thu)17:00～20:00@日本リサーチセンター
参加人数	7人

①CXカードから、ジョブの**把握**と**特徴の理解**を行う ⇒ 「①『映画館でみる映画』についてのジョブマップ」を参照
どのようなジョブがあるか、ジョブマップを整理する過程でCXカードを実際にみながら、分類しながら把握する。

②ジョブマップから、**ディスカッション**と**アイディエーション** ⇒ 「②ジョブマップからのアイディエーション」を参照
ジョブを使って、生活者のより深い理解やアイデア発想を行う。

①「映画館でみる映画」についてのジョブ（Jobs-To-Be-Done）マップ

